

平成 28 年第 1 回定例会 3 月 24 日

日程第 11. 議案第 18 号 平成 28 年度南風原町国民健康保険特別会計予算

○議長 宮城清政君 日程第 11. 議案第 18 号 平成 28 年度南風原町国民健康保険特別会計予算についてを議題とします。まず本案に関し、総務民生常任委員長の報告を求めます。浦崎みゆき総務民生常任委員長。

○総務民生常任委員長 浦崎みゆきさん 議案第 18 号 平成 28 年度南風原町国民健康保険特別会計予算。審査の経過 本案は、3 月 4 日の本会議に上程され提案理由の説明を受け質疑を行ったあと当委員会に審議を付託され、当委員会では同月 10 日に委員会を開き関係部長、課長、担当職員の出席を求め質疑応答を行い、質疑を終えました。同月 15 日に、まとめと採決を行いました。

最初に、3 月 4 日の本会議において、大城 勝議員からの質疑に対する回答のなかで、入院に係る医療費の減を分析するのに数カ月要するとありましたが、国保データベースシステムを使い国保年金課と保健師が常に連携して分析を行っているとの訂正の説明がありました。

次に、上原喜代子議員からの質疑がありました。お薬手帳にかかる費用について。配布資料お薬手帳を用いて、410 円の費用がかかるとの説明がありました。最近の国の動向で、お薬手帳の費用に関して見直しを検討している情報もあるとの説明がありました。

次に予算書 42 ページ、8 款 1 項 1 目. 特定健康診査等事業費について。受診率の向上に努めている特定健康診査受診率向上対策指導員 4 人の活動状況に関する質疑がありました。特定健診受診率向上対策指導員は、未受診者へ電話折衝したり年賀状を送付する等の取組を行っているほか、1 人当たり約 2,000 件の未受診者宅への訪問活動を行っているとの説明がありました。その成果もあり、本町の特定健診の受診率が沖縄県内でも同規模団体と比較してトップレベルにあることも分かりました。委員からは、特定健診受診率向上対策指導員の活動状況について高く評価する声がありました。討論に入り、討論はありませんでした。採決に入り、採決の結果、全会一致により可決いたしました。以上です。

○議長 宮城清政君 これより委員長の報告に対する質疑に入ります。質疑はありませんか。

(「進行」の声あり)

○議長 宮城清政君 質疑なしと認め、これをもって質疑を終わります。これから討論を行います。討論はありませんか。

(「なし」の声あり)

○議長 宮城清政君 討論なしと認めます。これで討論を終わります。これより議案第 18 号 平成 28 年度南風原町国民健康保険特別会計予算についてを採決します。本案に対する委員長の報告は、可決であります。本案は、委員長の報告のとおり賛成する方は起立を求めます。

平成 28 年第 1 回定例会 3 月 24 日

(起立全員)

○議長 宮城清政君 起立全員であります。したがって、委員長の報告のとおり可決されました。